

不審者対応避難訓練

昨日20日(月)の校内研修では、東警察署からスクールサポーターの方をお招きして、不審者対応避難訓練を行いました。不審者対応訓練とは、実際に不審者が現れた場合の対応方法や不審者が校内に侵入した場合の避難方法を確認するために行うものです。

まずは、来校者の把握をすることが不審者への初期対応で大切であることを全職員で共通理解することができました。不審者の対応としては、「生活点検を始めます。○年○組から生活点検を始めます。」という放送を流し、不審者に対応する職員が駆けつけるようにマニュアル作成していますが、その対処法についても再確認することができました。この放送に関することは、子供たちとも共通理解しておきたいと思います。

次に、刺す又の使い方や、不審者に効果的な殺虫スプレーの使い方なども教えていただきました。不審者対応では、不審者を拘束し、警察に引き渡すことが重要となってきます。刺す又は制圧のための道具ですが、相手に取られたら凶器と化してしまいますので、日頃からのイメージトレーニングの必要性も実感しました。刺す又の他にも、身の回りにある椅子や箒なども制圧用具になることも知ることができました。

最後に、簡単にできる護身術についても学びました。服や腕を掴まれたときに、簡単に離脱する方法を動きを交えながらコツを伝授していただくことで、納得しました。

不審者はいつ現れるのか想定することはできません。教職員は、非常時の対応に備えて、冷静な判断を行うことが重要になります。今回の研修は「備えあれば患いなし」となるよう、全員で対応の仕方を共有することで、短い時間ではありましたが、有意義な時間となりました。

帯西では、保護者の来校に際しては、名札の着用を義務付けていますので、今一度名札の確認をお願いします。また、来校の際には、事務室に用件をお伝えしてもらえると、確実に対応できますので、今後もよろしくお願いします。

学校百景③0 ハッピースマイルライトギャラリー

校長室前のウーパールーパーの水槽横に、主にふれあい学級の子供たちの作品を展示している「ハッピースマイルライトギャラリー」が2学期末から誕生しています。これは、5年生の藤本月(らいと)さんが、手作りガチャポンを私に見せてくれたことがきっかけとなりました。段ボールでできたガチャの精巧さと発想の面白さから、その感性に魅了されました。その後も藤本さんの折り紙や、ふれあい学級のハッピースマイルアートギャラリーの作品などを全校のみんなに紹介したいと思い、コーナーを作りました。このコーナーの初代館長の藤本さんは、「ぼくたちが頑張って作った作品を多くの人に見てほしいです。」と述べています。これからも創作意欲をもって、作品を展示して欲しいと思います。今は、お正月と給食記念週間にちなんだ作品が並んでいます。

